

人文学部の教育方針

アドミッションポリシー

<p>東京成徳大学 建学の精神、大学の教育理念を理解し、かつ各学部、学科のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを受容でき、各学部、学科が用意する専門分野と社会人基礎力を身につけるための基礎的学力と資質を備えた意欲の高い者を広く求める。</p>	<p>人文学部 日本の歴史や現代文化、異文化に広い興味関心を持つこと、または、英語、韓国語、中国語の習得を強く希望し、海外留学も射程に入れた学びの意欲を持ち、将来は、文化や語学の学びを活かせる世界で働くことを希望する者を選抜する。</p>	<p>日本伝統文化学科 高等学校レベルまでの国語や英語を中心とする基本的な学力(知識と技能)を身に付けている人(一般入試、センター試験入試)、あるいは、高等学校で身に付けた基本的な学力をベースに自分なりの思考、判断、表現ができ、かつ将来のキャリア形成に向けて、主体性、多様性、協働性の発揮が期待できる人(AO入試、推薦入試など)で、以下のような人を入学させる。 ・文学・歴史・芸能などの日本の伝統文化に興味・関心を持っている人 ・日本伝統文化に関する専門的な知識をもとに、学芸員、教師(中学校・高等学校の国語)、日本語教員の資格取得に意欲のある人 ・社会に出て、日本の伝統文化について広く情報を発信する職業につくことをめざす人</p> <p>国際言語文化学科 高等学校レベルまでの国語や英語を中心とする基本的な学力(知識と技能)を身に付けている人(一般入試、センター試験入試)、あるいは、高等学校で身に付けた基本的な学力をベースに自分なりの思考、判断、表現ができ、かつ将来のキャリア形成に向けて、主体性、多様性、協働性の発揮が期待できる人(AO入試、推薦入試など)で、以下のような人を入学させる。 ・英語・中国語・韓国語のうち一つまたは複数の言語や地域文化に興味・関心のある人 ・海外留学や留学生との交流を通じた積極的な学びをする意欲のある人 ・国際社会と多様な文化への知識と理解をもとに、語学教育、国際ビジネス、観光産業、マスコミ関係の仕事をめざす人</p>
--	--	--

人文学部の教育方針

カリキュラムポリシー

東京成徳大学

建学の精神、大学の教育理念のもと、各学部、学科の定める専門分野の知識と技能が広範かつ深く学べ、さらに社会で必要とされる課題発見力、問題解決力、コミュニケーション力などの社会人基礎力が育成できるカリキュラムを展開する。

人文学部

各学科の教育課程においてはそれぞれの教育目標を達成するために、社会人基礎力の養成にも配慮しながら、基礎・教養科目群と相互に関連づけつつ学科にかかわる科目群を基礎から応用へと展開させ、講義、演習、実習等をバランスよく配置する。

日本伝統文化学科

I カリキュラム編成

ディプロマポリシーを達成するために、以下のようなポリシーに従い、カリキュラムを編成する。

- ①日本の伝統文化に関する基礎的な知識を修得するため、「専門基礎」および「日本伝統文化の総合的理解」の必修科目群を配置し、さらに、日本伝統文化の理解を深化させるため、「日本伝統文化研究の深化徹底」の演習科目群を配置する。
- ②日本の伝統文化に関する専門的な知識を修得するために、「文学系」および「歴史文化系」の科目群を配置する。
- ③日本の伝統文化に関して、体験を通じて学び実際の知識と技能を修得するために、「文化体験系」科目群を配置する。
- ④卒業後に、修得した日本の伝統文化に関する専門性を活かして社会に貢献することができるために、「文化情報・マネジメント系」および「博物館に関する科目」の科目群を配置する。
- ⑤社会人基礎力を備えた職業人になるための基礎基本となる教養、および就業力を身につけるために、学部共通科目群として、ICTリテラシー、キャリアデザイン、さらに教養科目群を配置する。

II 授業方法と評価

このカリキュラムポリシーのもとで作成されたカリキュラムを学ばせることで学士力の向上をめざすために、アクティブラーニングを積極的に導入し学生の能動的な学修を促し、その成果を、GPA及び学修行動調査と学修成果調査によって入学時から卒業時まで継続的にモニタリングすることで、指導効果を確認する。

国際言語文化学科

I カリキュラム編成

ディプロマポリシーを達成するために、以下のようなポリシーに従い、カリキュラムを編成する。

- ①英語・中国語・韓国語を中心とした言語運用能力を修得するために、学年進行とともに、より高次の運用能力を身に付けられるように、それぞれの語学ごとに、「基礎」・「応用」・「就業力」の科目群を配置する。
- ②さまざまな背景を持つ多文化に対する理解を深め、幅広い知識を修得するために、「英語教養科目」群、英語・中国語・韓国語の「地域文化・国際教養科目」群を配置する。
- ③国内外の多様な考え方を持つ人々とコミュニケーションできる能力と優れた国際感覚を身に付けるために、「語学科目」群のほかにも海外実地体験等に関わる「単位認定科目」群を配置する。
- ④社会人基礎力を備えた職業人になるための基礎基本となる教養、および就業力を身に付けるために、学部共通科目群として、ICTリテラシー、キャリアデザイン、さらに教養科目を配置する。

II 授業方法、評価

このカリキュラムポリシーのもとで作成されたカリキュラムを学ばせることで学士力の向上をめざすために、アクティブラーニングを積極的に導入し学生の能動的な学修を促し、その成果を、GPA及び学修行動調査と学修成果調査によって入学時から卒業時まで継続的にモニタリングすることで、指導効果を確認する。

人文学部の教育方針

ディプロマポリシー

<p>東京成徳大学 建学の精神「有徳有為な人間の育成」と大学の教育理念「共生とコミュニケーション」に基づき定められた、各学部・学科が求める専門的な知識、技能の学修水準に達し、さらに社会人としての基礎的能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与する。</p>	<p>人文学部 教養教育による幅広い知識や教養と、キャリア教育による就業につながる知識や技能を身につけるとともに、各学科の目標とする専門的知識と技能を学修し、教育課程に示された卒業要件単位の修得をもって卒業を認定し、学士課程学位を授与する。</p>	<p>日本伝統文化学科 日本の伝統文化について、その本質を理解するとともに、修得した知識と技能を現代社会に活かす能力を身に付け、かつ所定の単位を修得した者に卒業を認定し、学士(日本伝統文化)を授与する。 ①日本の伝統文化に関する基礎的・総合的な知識を修得していること ②日本の伝統文化に関する専門的な知識を修得していること ③日本の伝統文化に関して、体験を通じて学び、実的な知識と技術を修得していること ④卒業後に、修得した日本の伝統文化に関する専門性を活かして社会に貢献できる知識と技能を修得していること ⑤社会人基礎力を備えた職業人になるために必要な教養、および就業力を身に付けていること</p> <p>国際言語文化学科 英語・中国語・韓国語を中心とした言語の高い運用能力を身に付け、国際社会と多様な文化への知識と理解を深め、それによって国際社会に貢献できる能力を身に付け、かつ所定の単位を修得した者に卒業を認定し、学士(国際言語文化)を授与する。 ①英語・中国語・韓国語を中心とした言語運用能力を修得していること ②さまざまな背景を持つ多文化に対する理解を深め、幅広い知識を修得していること ③国内外の多様な考え方を持つ人々とコミュニケーションできる能力と優れた国際感覚を身に付けていること ④社会人基礎力を備えた職業人になるために必要な教養、および就業力を身に付けていること</p>
---	---	---